



飛翔

伊仙町立犬田布中学校

キャッチフレーズ 飛翔の教育
「天かけて大きく羽ばたき、雄飛してほしい」
HP アドレス <http://www.t2.toku-vision.com/~inuchu/>

ひびこれあらた
「日々是新」なれ

校長 高瀬 茂

年があらたまれば心もあらたまる。心があらたまればおめでたい。正月だけがおめでたいのではない。心があらたまったとき、それはいつでもおめでたい。昨日も今日も自然の動きには何ら変わりはない。照る陽、吹く風、みな同じ。それでも心があらたまれば、見るもの聞くものがみな新しい。年の初めは元旦で、一日の初めは朝起きたとき。年の初めがおめでたければ、朝起きたときも同じこと。毎朝、心があらたまれば、毎日がお正月。あらたまった心には、全てのものがおめでたい。毎日が新しく、毎日が門出である。「日々是新」なれ、素直で謙虚で創意に富む人は、毎日が明るく毎日が元気である。さあ、みんな元気で新しい日々を迎えよう。これは、松下電器、現在のパナソニックの創設者であり、経営の神様とも呼ばれている松下幸之助さんの言葉です。私も今年は年男、新しいことにもトラ（寅）イしよう！何事も挑戦・チャレンジすることを忘れないよう「日々是新」なれを実践したいと思っています。

さて、令和4年度の新入生入学説明会を1月20日（木）から各小学校で分散開催しました。入学予定の24名の児童のみなさんが安心して入学できるよう準備を進めています。事前のアンケート調査で挙げられた「勉強が難しそう、ついていけるか不安、人間関係で友達ができるか心配、苦手な教科があるのでどうしよう」など、不安に思っていることに対して、「不安に思うということは、それだけ中学生になることに真剣に向き合っている証拠。自分のできる努力をコツコツ地道に継続していくことが大切であること。また、入学してから周囲と協力していろいろな活動を経験していく中で、自然に交友関係が広がること。中学校卒業後の進路について考える3年間であることなど」を話しました。また、生徒会執行部・在校生及び職員一同で新入生の入学を心待ちにしていることを伝えました。児童のみなさんが各小学校で積み上げた力を中学校で大いに発揮し、さらに大きく伸ばしていけるよう各家庭と協力して子どもたちの健全育成に努めていきたいと考えています。また、4月6日の入学式までに心と体の準備を整えて入学してきてほしいと願います。

ところで、新型コロナウイルスの爆発的感染拡大を受け、県内全域に「まん延防止等重点措置」が2月20日まで適用されました。徳之島島内の感染状況は一進一退が続いています。引き続き自分たちができる感染防止に努めていきましょう。

出前福祉講座（1・2年合同道徳）開催

1月27日（木）1校時、伊仙町社会福祉協議会より、幸多実会長と幸野憲繁さんをお招きし、人権・福祉についての出前講座を開催しました。60歳を前に全盲になり失意の底から立ち直った幸野さんと、実体験から福祉を学びそれを生かす仕事に就いた幸多さんから貴重な話をお聞きました。是非、家庭でもどんな話だったのか、どのように感じたのか話題にしてみてください。

【生徒の感想から】

- 今日の学習で、今を大切にするということを学びました。一日一日を大切に、悔いの残らないように、周りに対する感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。
- どんなことがあっても、あきらめない、くじけないことが大切だと知りました。今日は、とても心に響く話をしてくださりありがとうございました。
- 辛く大変な思いをしても希望を失わず、私たちのために話をしてくださる、すごいなあと思いました。私も、何があっても夢に向かって頑張りたいと思いました。
- 幸多さんたちが話し合っ、目が見えなくなり家に引きこもりがちだった幸野さんを、前向きな気持ちになるよう変えることができたと言いました。これから生きていく中で何が起こるか分からないけれど、しっかり受け止めて前に進んでいけるようにしたいです。



【幸野 憲繁 さん】



【幸多 実 さん】

2月の行事予定

1日（火）	キャリア教育講演会 自立を目指して週間（～4日） 徒歩通学強調週間（～4日）
2日（水）	生徒朝会
9日（水）	全校朝会 家庭学習強調週間・部活動停止（～17日）
11日（金）	建国記念の日
12日（土）	土曜授業
14日（月）	移動図書館（昼休み）
15日（火）	3年生学級PTA
16日（水）	学年末テスト（～18日）
19日（土）	大島地区バレーボール大会 （男子、～20日）
22日（火）	ワンダフルタイム・学級専門部会
23日（水）	天皇誕生日
24日（木）	1・2年生授業参観、学級PTA 学校評議員会
25日（金）	生徒会専門部会・代議員会 ALT来校
26日（土）	大島地区バレーボール大会 （女子、～27日）

※ 状況に応じて変更する場合があります。

※ 家庭学習の習慣化として60・90運動の実践（中学生は90分をめやすとする）

3学期始業式で、4名の生徒がそれぞれ学年・生徒会を代表して今学期や今年の目標を発表してくれました。以下に抜粋の上、紹介します。

クラスの目標は、自分のことは自分たちでできるようになることです。3学期は2年生になる準備の学期「1年生の0学期」だと先生から聞きました。尊敬される先輩になれるように、20人で力を合わせて頑張っていきたいです。

私は、3学期の目標を「やるべきことを計画的にし、3年生に向けての準備をする」と立てました。3学期は、自分で考えて積極的に行動したいです。また、やるべきことをしっかり終わらせ、そして学校をまとめられるように行動していきたいです。

1・2年生の手本としての3年生になれるよう準備する学期、また将来に向けて考える学期にしていきたいです。

3年生にとって、中学校生活最後の学期であり、最も大変な学期でもあります。

入試を控え、不安がぬぐえない部分もありますが、残された時間より一層勉学に励み、少しでもレベルアップしたいと思います。

学習面も含め、この3学期を、より充実させ、思い出に残るように、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。

3 学期の目標を 2 つ挙げます。

1つ目は、先生方や各専門部と情報を共有するです。そうすることによって、行事や専門部活動がより活発化すると思います。

2つ目は、自分たちから考えて動くことです。3年生にとって大切な行事がたくさんある3学期、自分たちが常に気を利かし、楽しい生活を送れるようにしたいと思います。また、新たな取組にチャレンジし、犬田布中をより活性化したいです。

(総合的な学習・テーマ学習より)

徳之島ブランドを盛り上げよう 例えは、三京の林道にある、牛ワフルーの家庭菜であるサルナシカズを、栽培して販売することも良いと思います。 沖縄でも、実際にサルナシカズを、栽培して販売しています。味は、手頃な美味しい味があるそうです。徳之島でもサルナシカズを栽培してお店で販売したら、徳之島のブランドより盛り上がると思います。	自然遺産でブランド化 地域の農家の皆に協力しても、ブランド化をする。 地域の自然を守り環境をよくすることで、ジャガイモや、サトウキビ、牛、コシヒメなどの特産物のブランド化を盛り上げる事ができる。 世界自然遺産になることで特産物により有名になる。 観光客の増加によって経済が必要で、特産物の品種改良などに力を入れることで、ブランド化が期待される。	徳之島は世界の宝 ～三京林道自然調査から～  2021.11.9 (火)
 太古から 生き続けている 動物が、植物が 目の前に イセエビやアマミナシカウがたなど希少な動物に加え、アマミクロサギの試し掘りやイシシの「あした壺」など、普段では見れない光景を見ることができました！	徳之島にある植物 徳之島は、8種の固有種と1110種の絶滅危惧種がある。その中で、トクシマノアイノキ(ウツリヤシ)と、トクシマナナシカウ、タムシカウアイノキなどがあふれる。 三京林道では、クチナシ、センリョウ、アマシバ、マダコシシ、オキナワシシなどの珍しい8種類の植物などを観察することができました。	伊仙町立大田中学校 大島郡伊仙町大田3 2 7 TEL 0997-86-9206 FAX 0997-86-9225 www.t2.toku-vision.com/~michu

徳之島に生える外来植物① そもそも、外来種とは、人間活動によって他の地域から持ち込まれた動植物のこと。徳之島には、たくさんの外来植物が生息している。その中には、モミジカサノオ、ランタナ、グライトワ、ヤブカンゾウ、アズマハルゲム、ボナンワキサン、コトバギク、メダカナシラケなどがあります。外来種で、絶滅してしまう在外来種が出てくることもある。外来種とも上手につき合っていくことが大切！	世界の宝の徳之島にある もう一つの現実 ゴミの不正投棄、道路へのポイ捨て、希少動物や交通事故、ノイズ・大気被害、除草や処理が難しい危険外来種、昆虫や植物の盗掘、土系流出、海洋ゴミ、オニヒドリのサンゴ食害	徳之島の動物を守るために 私たちにできること 注意を呼び掛ける 動物を持てどるな！ 動物を捕まえないな！ 夜道はビードを出しすぎるな！ ごみを不法投棄するな！ ピクニックをするな！ みんなで3つ拍いしよう！
徳之島にいる外来植物② 今年8月、徳和郡において、農産物や、在来植物に寄生し、最終的に枯死してしまう、有根吸ひの特徴は、茎の太さ、1mm程度で、色は黄褐色（クリーム）のみ！人間で例えれば心臓みたいな病気！駆除するには一冊を毎年、地層まで焼き払うしかない！ ※見つけたら赤鳥紅の会に連絡をしましょう。	「三宗林道」以外にも、 徳之島にはスゴイ所や 貴重な動物があ たくさんあります。 世界遺産、徳之島。 みんなで見守りたい場所。 外來種駆除に参加してみたい方へ	
N P O 法 人 徳之島赤虹の会の紹介 徳之島の会は、本業の傍ら、地域の自然環境問題に関わりつつある方が、むっせと集まり始め、中村、佐々木らにより2011年発足しました。今迄の活動としては、お茶畑でのカタツムリ駆除の企画で示す「赤虹」の意味があります。よくよくを定めて仲間が集り、人と人、自然と暮らし、過去と未来をつかみ、かけ橋になることを目指しています。設立当初より、県民生活に子供たちと島の風景と人間の関わりを伝えるとともに、その伝達、継承のために取り組んできました。 近年は、島の文化も未来へなく活動として、世界自然遺産登録の南西支障帯に取り組み、希少な野生動物、自然環境保全活動、子育て支援事業とした共同事業を通じ、高齢化が進む文化を守り伝えるエコツーリズムの可能性も行っています。		

1月の行事から

三学期始業式(1月11日)

性に関する指導(1月24日)

